

## カリフォルニア大学・サンディエゴ校

派遣期間：2013年7月1日～7月26日

### 【学習成果について】

アメリカと日本の医学教育制度、病院の仕組みの違いを、実際に見たり肌で感じる事が出来た。また、多くのアメリカで活躍している日本人医師、日本人研究者の方々からも多くの刺激を受けることができた。特にアメリカの医学教育については多くの方の話を聞いたり、本や論文を読んで、自分なりの考えをまとめることができたので、今後何らかの形で日本の医学教育に還元できたらと思う。

### 【海外での経験について】

海外と日本の違いを実際に目の当たりにすることで、今まで当たり前だと思い、ありがたさを感じなかった日本の良さに気づくと同時に、課題にもいろいろ気づかされた。このことに気づいたことは自分にとってかなり大きな糧になると思う。また、今回の留学では本当に多くの人に助けていただいて、助け合うことの大切さを強く感じた。やはり日本人がアメリカでやっていくためには、既にそこに地位を築いている人の推薦がないと難しいと感じた。

### 【派遣プログラムの内容について】

UCSD の内部だけでなく、UCSD の School of Medicine の学生が運営する Free Clinic を訪れてアメリカの医学生に話を聞いたり、San Diego にある医学系の研究所 (Sanford/Burnham, Scripps, UCSD Medical Center ) で働いている先生や、San Diego で開業なさっている先生のところへ伺って様々な話を聞くことができ、1ヶ月とは思えないほど濃密な経験をする事ができた。

### 【今後の進路への影響について】

現地でアメリカ人の医師や、アメリカで活躍している日本人の先生方にお話を伺う中で、アメリカで医師になるためにはどんなことをしたら良いか、実際に働いてみるとどうかなども話して下さった方や、長期での研究所へのインターンシップに誘って下さった方もいて、自分がやる気を見せることで広がる道もたくさんあることに気づいたし、これを機に本格的に長期にアメリカで学んだり働く準備をしようと思った。今までの、留学したいという漠然とした思いが具体化された。  
(田畑里佳子)